

日本ショーペンハウアー協会 第30回全国大会

2017年11月25日(土)・26日(日)
杏林大学 井の頭キャンパス(東京)



1日目:11月25日(土)

研究発表(10:20~12:00)

1. 「ニーチェの「思惟の成立史」
——ショーペンハウアーの認識論からの飛躍——」
前川 一貴(早稲田大学講師)
司会:本郷 朝香(立教大学講師)
2. 研究動向報告「言語哲学における先駆者としてのショーペンハウアー
——イェンス・レマンスキー「ショーペンハウアーにおける
意味の使用理論と文脈原理」の報告——」
太田 匡洋(京都大学大学院)
司会:高橋 陽一郎(日本大学教授)
3. 研究動向報告「若きショーペンハウアーの哲学構想における
学位論文第一版の位置づけ:ノヴェンブレ氏の論文を手引きとして」
西 章(関西学院大学講師)
司会:高橋 陽一郎(日本大学教授)

公開講演(13:40~14:40)

「キェルケゴール最晩年におけるショーペンハウアー読書」
梶形 公也(キェルケゴール協会会長・
大阪教育大学名誉教授・武庫川女子大学名誉教授)
司会:高辻 知義(東京大学名誉教授)

日本ショーペンハウアー協会・キェルケゴール協会

共催シンポジウム(14:50~18:00)

- 「「神なき時代」をどう生きるか
——キェルケゴール・ニーチェ・ショーペンハウアーにおける宗教と科学——」
1. 「「神は死んだ」のか? ——ニーチェにおける宗教と科学」
竹内 綱史(龍谷大学准教授)
 2. 「キェルケゴール宗教思想における(自然)科学理解について」
須藤 孝也(白梅学園大学講師)
 3. 「ショーペンハウアーにおける宗教と科学」
板橋 勇仁(立正大学教授)
司会:梅田 孝太(上智大学講師)・鈴木 祐丞(秋田県立大学助教)

2日目:11月26日(日)

シンポジウム(10:00~12:30)

- 「ショーペンハウアーと生命倫理」
1. 「ショーペンハウアーにおいて尊厳死はいかにして許容され得るか」
多田 光宏(苫小牧工業高等専門学校准教授)
 2. 「ショーペンハウアーと臨床倫理——その共通性と差異性」
林 睦美(国立精神・神経医療研究センター病院
医療社会事業専門員)
 3. 「ショーペンハウアーの動物倫理再考」
上野山 晃弘(日本大学専任講師)
司会:西 章(関西学院大学講師)

第28回 ニーチェ・セミナー(13:30~19:20)

プログラムの詳細は協会ウェブサイトをご覧ください。

連絡先

日本ショーペンハウアー協会事務局
192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
創価大学文学部 伊藤貴雄研究室内
E-mail: office●schopenhauer.org
(●は@にご変更の上、ご送信下さい)

Homepage: <http://www.schopenhauer.org>
D-Fax: 020-4624-9462